

令和4年度地域包括支援センター事業の評価について

本資料は、平成30年7月4日付老振発0704第1号（最終改正令和2年5月29日）「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について」の「3.市町村における評価と機能強化等の流れ」に基づき、小牧市における令和4年度地域包括支援センター事業を評価・報告するものです。

なお、評価指標の具体的な設問につきましては、参考資料2「市町村及び地域包括支援センターの評価指標」をご参照ください。

■評価の仕組み（レーダーチャート）■

- 次ページ以降のレーダーチャートが示す7項目の「%」は、それぞれの項目がどの程度取り組んでいるかを示しています。例えば、『2-(1) 総合相談支援』の場合、市町村指標は6つの設問で構成されていますが、仮に4つの設問に対応している場合は、 $4/6 = 66.7\%$ （小数点2位を四捨五入）となります。
- レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、小牧市の地域包括支援センター事業の「特徴」が確認できます。

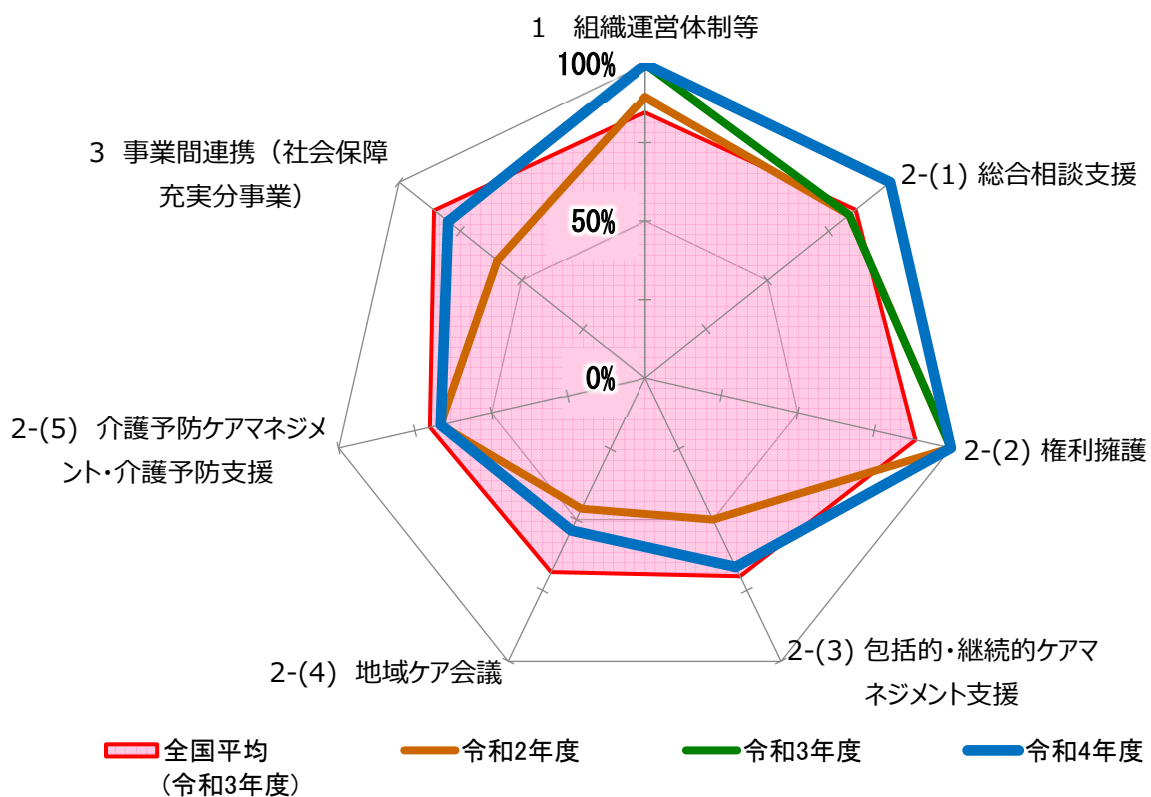
目 次	
1. 市町村の評価	P 2
・小牧市	
2. 地域包括支援センターの評価	P 3
・南部地域包括支援センターケアタウン小牧	
・小牧地域包括支援センターふれあい	
・味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷	
・篠岡地域包括支援センター小牧苑	
・北里地域包括支援センターゆうあい	
3. 評価結果の比較	P 8

1. 市町村の評価

【小牧市役所】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国平均 (令和3年度)
1 1 組織運営体制等	89.5%	100.0%	100.0%	84.7%
2 2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%	100.0%	85.9%
3 2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	88.4%
4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	50.0%	66.7%	66.7%	70.0%
5 2-(4) 地域ケア会議	46.2%	53.8%	53.8%	68.5%
6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	66.7%	66.7%	66.7%	70.2%
7 3 事業間連携（社会保障充実分事業）	60.0%	80.0%	80.0%	85.7%

■レーダーチャート■



■評価結果■

評価については年々改善傾向にあるが、3項目を除いて全国平均に到達していない。特に『2-(4) 地域ケア会議』については従来から評価が低い状態が続いているため、優先的に改善すべきと考える。

具体的には、地域ケア会議における個人情報の取り扱い方針、地域ケア会議の議事録などの共有方法、個別事例の経過をモニタリングするルールや仕組み（参考資料2、市町村指標41～43）などについて地域包括支援センターに提示することが出来ていないため、今後の改善が必要である。

■小牧市地域包括支援センター運営協議会からの改善提案■

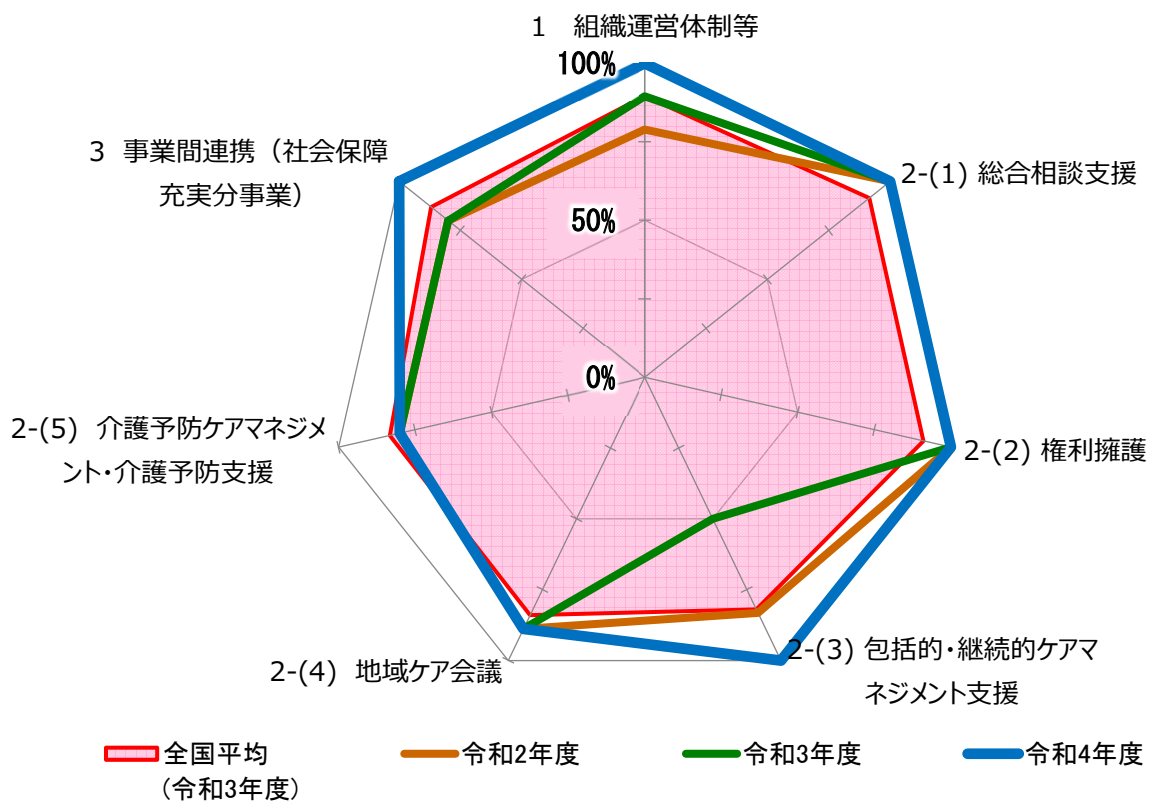
地域ケア会議については5つの機能があり、課題の抽出やネットワークづくりなど、様々な機能を持った地域ケア会議を開催するように定められている。小牧市の地域ケア会議がそれらの機能を十分に発揮できるよう、改善に取り組んでいただきたい。

2. 地域包括支援センターの評価

【南部地域包括支援センターケアタウン小牧】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国平均 (令和3年度)
1 1 組織運営体制等	78.9%	89.5%	100.0%	89.6%
2 2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.5%
3 2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	91.0%
4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	50.0%	100.0%	82.0%
5 2-(4) 地域ケア会議	88.9%	88.9%	88.9%	84.0%
6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	83.2%
7 3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	80.0%	100.0%	86.9%

■レーダーチャート■



■評価結果■

『2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援』について、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって研修会や出前講座等が開催できなかったことから評価が低くなっていたが、令和4年度は再開したことにより評価が回復している。全体を通して低い評価の項目はないため、今後も継続して事業に取り組んでいただきたい。

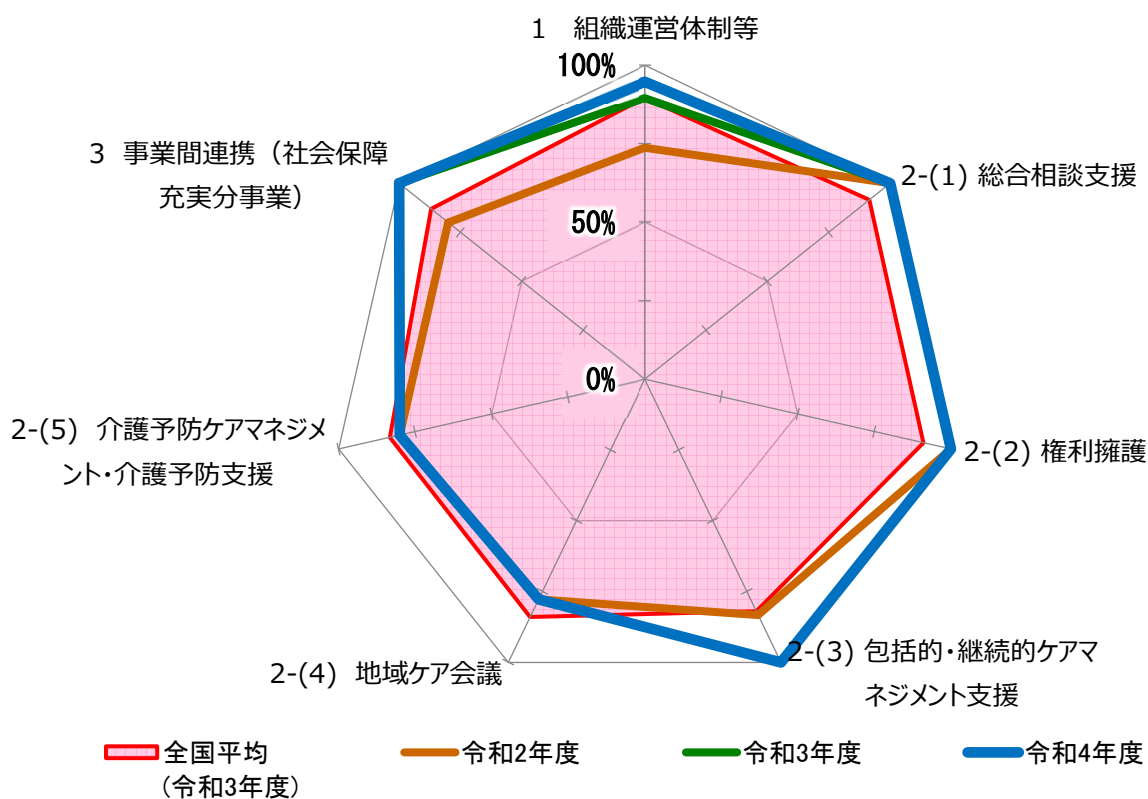
■小牧市地域包括支援センター運営協議会からの改善提案■

男性介護者交流会は、とても有意義な取り組みである。参加者の中には、「これから介護を迎える人に情報を発信していきたい」という方もおり、そのような方々の交流の場として非常に有効であり、より多くの方に参加いただけるような方策を検討していきたい。

【小牧地域包括支援センターふれあい】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国平均 (令和3年度)
1 1 組織運営体制等	73.7%	89.5%	94.7%	89.6%
2 2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.5%
3 2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	91.0%
4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	100.0%	100.0%	82.0%
5 2-(4) 地域ケア会議	77.8%	77.8%	77.8%	84.0%
6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	83.2%
7 3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	100.0%	100.0%	86.9%

■レーダーチャート■



■評価結果■

『2-(4) 地域ケア会議』は、センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有する体制が不十分であるため、対応策を検討していただきたい。

一方、『1 組織運営体制等』については、経年的に改善に取り組んだことによって評価が上昇しているが、令和元年度以降は三職種の人員配置に関する設問に対応出来ていないため、まずは人材確保に注力していただきたい。

小牧地域包括支援センターふれあいは小牧西部圏域及び小牧中部圏域の2圏域を所管しており、高齢者人口も9,000人を超えていることから、今後も組織運営体制の安定と維持に努めていただきたい。

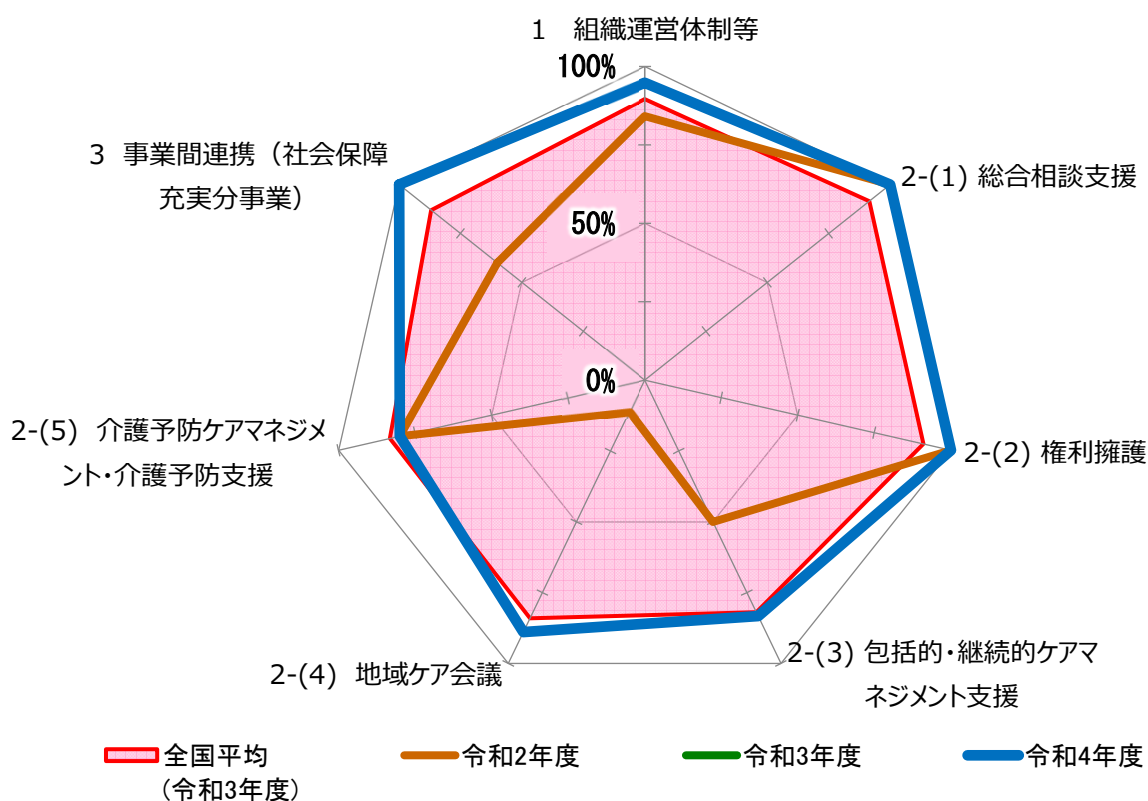
■小牧市地域包括支援センター運営協議会からの改善提案■

専門職の人材確保、特に保健師の確保について苦勞をされていると思うが、適正な職員配置に努めていただきたい。

【味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国平均 (令和3年度)
1 1 組織運営体制等	84.2%	94.7%	94.7%	89.6%
2 2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.5%
3 2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	91.0%
4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	50.0%	83.3%	83.3%	82.0%
5 2-(4) 地域ケア会議	11.1%	88.9%	88.9%	84.0%
6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	83.2%
7 3 事業間連携（社会保障充実分事業）	60.0%	100.0%	100.0%	86.9%

■レーダーチャート■



■評価結果■

『2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援』について、「介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握している」の設問に取り組んでいけるとよい。
 全体的には、低い評価の項目もないため、今後も継続して事業に取り組んでいただきたい。

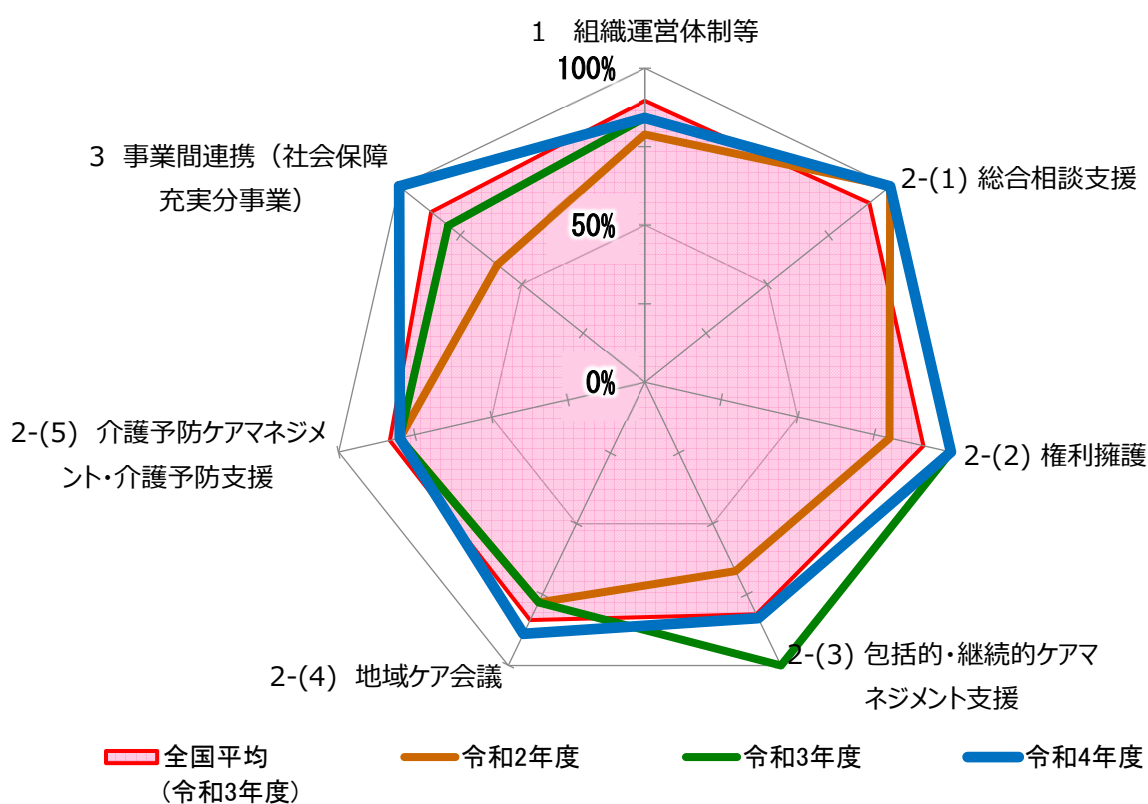
■小牧市地域包括支援センター運営協議会からの改善提案■

長年、地域に存在しなかった認知症カフェが1年間で3箇所も立ち上がったという実績は非常に大きな成果であり、変化である。これからも、これらの認知症カフェの運営が継続できるように支援を実施していただきたい。

【篠岡地域包括支援センター小牧苑】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国平均 (令和3年度)
1 1 組織運営体制等	78.9%	84.2%	84.2%	89.6%
2 2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.5%
3 2-(2) 権利擁護	80.0%	100.0%	100.0%	91.0%
4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	66.7%	100.0%	83.3%	82.0%
5 2-(4) 地域ケア会議	77.8%	77.8%	88.9%	84.0%
6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	83.2%
7 3 事業間連携（社会保障充実分事業）	60.0%	80.0%	100.0%	86.9%

■レーダーチャート■



■評価結果■

『1 組織運営体制等』において、夜間・早朝・平日以外の連絡先を定めているものの、住民に周知していないため、周知出来るとよい。また、『2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援』について、前回調査時は地域のケアマネに対して事例検討会等の開催計画の周知がされていたが、今回は実施されていないため、継続的に実施できるとよい。

また、篠岡圏域の特性として、令和5年10月1日時点における圏域の高齢者人口は市内最大の10,403人、高齢化率は33.3%と第8次小牧市高齢者保健福祉計画の推計を超えるスピードで高齢化率の上昇が見られ、介護予防プラン及び第1号介護予防プラン数も増加することが予測されることから、十分な市民対応を実施できるよう、業務の効率化や職員配置人数等を含めた組織の運営体制の安定と維持に努めていただきたい。

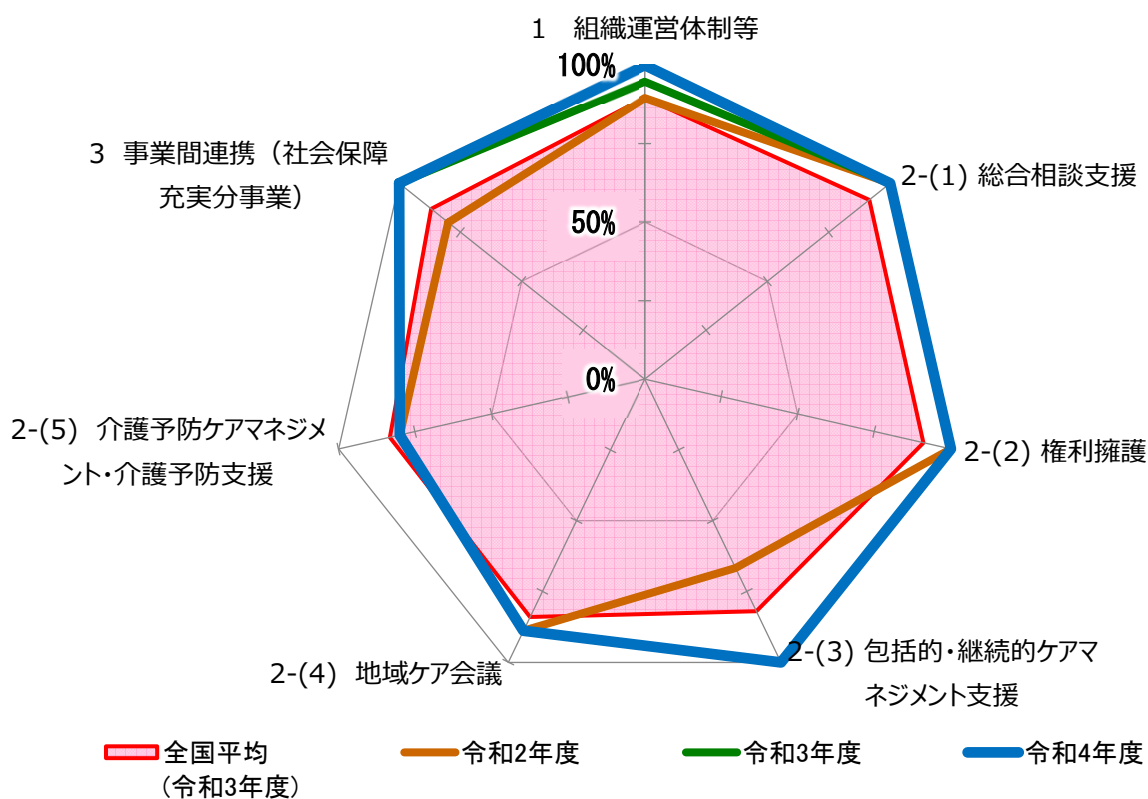
■小牧市地域包括支援センター運営協議会からの改善提案■

既存の認知症予防ゲームの開催場所が遠いことを受け、令和4年度に認知症予防ゲームを篠岡圏域で開始したという取り組みは、住民のニーズに寄り添った取り組みであり、継続していただきたい。

【北里地域包括支援センターゆうあい】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国平均 (令和3年度)
1 1 組織運営体制等	89.5%	94.7%	100.0%	89.6%
2 2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	91.5%
3 2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	91.0%
4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	66.7%	100.0%	100.0%	82.0%
5 2-(4) 地域ケア会議	88.9%	88.9%	88.9%	84.0%
6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	83.2%
7 3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	100.0%	100.0%	86.9%

■レーダーチャート■



■評価結果■

前回の評価も高く、全体を通して低い評価の項目はないため、今後も継続して事業に取り組んでいただきたい。

■小牧市地域包括支援センター運営協議会からの改善提案■

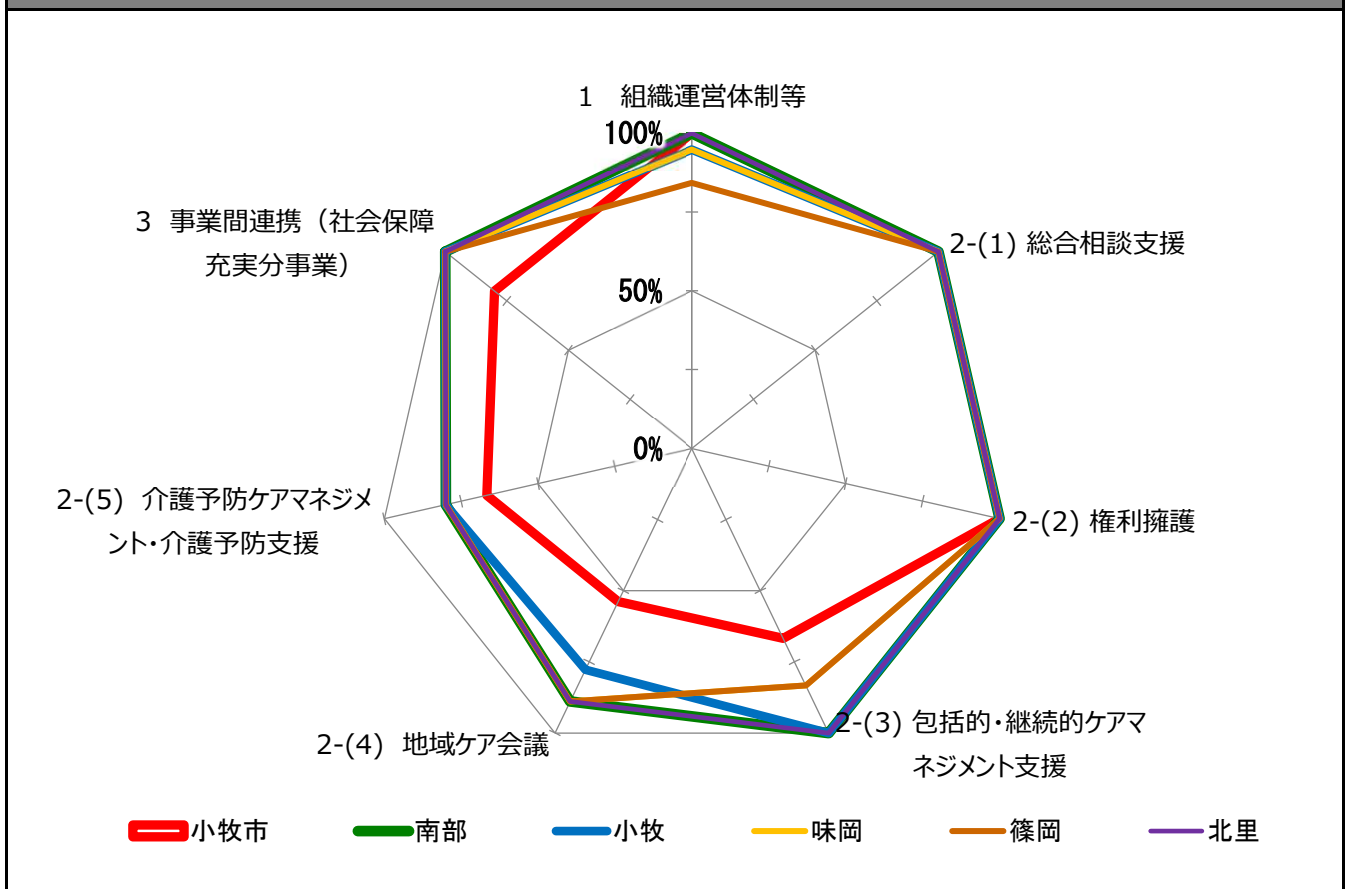
人員確保は大変重要な課題であり、居宅介護支援事業所が減っている状況では地域包括支援センター内での育成も検討していく必要がある。

そのような中、重層的な地域ケア会議において様々な機関と連携を取って課題に対応していただいております。「地域包括支援センターはこうあるべき」という一つの形を見せていただいた。これからも引き続き頑張ってください。

3. 評価結果の比較

項目	小牧市	南部	小牧	味岡	篠岡	北里
1 1 組織運営体制等	100.0%	100.0%	94.7%	94.7%	84.2%	100.0%
2 2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
3 2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	66.7%	100.0%	100.0%	83.3%	83.3%	100.0%
5 2-(4) 地域ケア会議	53.8%	88.9%	77.8%	88.9%	88.9%	88.9%
6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	66.7%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
7 3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■レーダーチャート■



■評価結果の比較■

小牧市は改善を要する項目が複数存在している。特に『2-(4) 地域ケア会議』については、自治体の全国平均と比較しても評価が低いため、早急な改善に取り組む必要がある。

地域包括支援センターについては、すべてのセンターでおおむね全国平均以上の評価を得られており、適切な組織運営体制の維持・改善が図られていると考える。

しかしながら、高齢者人口・高齢化率の上昇が続く一方で、介護予防プラン作成件数の増加など、センターの業務負担は増加傾向である。各センターは総合相談や権利擁護などの支援事業に影響が出ることがないように、条例で定める三職種の最低限度の配置基準に加え、業務の内容や量に応じた適切な人員配置を計画していただきたい。

■小牧市地域包括支援センター運営協議会からの改善提案■

人材確保が困難な中ではあるが、地域課題等を踏まえながらも業務の効率化に努めていただきたい。また、介護保険の介護給付適正化計画と併せて、市と地域包括支援センターが協力して良い方向に向けて取り組んでいただきたい。